

平成29年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(市町村枠)

(県中地方振興局)

(単位:千円)

番号	継続・新規	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
1	継続 2	観光 振興	猪苗代湖プロモーション事業	郡山市	ソフト	5,477	3,905	猪苗代湖と郡山の地域資源を広く国内外へ発信することにより、インバウンドを含む交流人口の増加を図り、震災以降減少した観光入込の回復につなげる。 ・猪苗代湖プロモーション事業(webサイトの多言語化、SNSの活用、写真展の開催)	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	郡山市	
2	継続 3	観光 振興	ウルトラマン関連事業(観光誘客の推進)	須賀川市	ソフト	36,860	10,000	須賀川市独自の強みである、ウルトラマンを活用し地域のPRを行うとともに、フォトコンテストや、経済効果を検証する事業を行うことで、今後のブランド戦略やマネジメントの強化を図り、震災以降落ち込んだ観光入込の回復を図る。 ・M78光の国 姉妹都市提携4周年記念イベント ・市内小学生を対象とした光の町への住民登録推進、フォトコンテストの開催 ・ウルトラマンベンチの作成	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	須賀川市	
3	新規	産業 振興	田村市グリーン・ツーリズム活性化事業	田村市	ソフト	3,600	1,034	田村市の豊かな自然や魅力ある人材を知ってもらえるグリーン・ツーリズムを実施することで、地域の活性化やファンづくりを進め、交流人口の拡大を図ることにより、風評の払拭や観光入込の回復を図る。また、そのための受け入れを担う地域の人材確保を育成を行い、将来持続可能な受け入れ体制を整備する。 ・ファンづくりを担う田村市グリーン・ツーリズム連絡協議会の育成 ・ファンづくりのきっかけとなるモニターツアーの開催	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	田村市	
4	新規	情報 発信	鏡石まちの駅「かんかん館」情報発信事業	鏡石町	ソフト・ ハード	13,033	6,186	鏡石町の情報発信交流拠点としてまちの駅「かんかん館」を整備し、交流スペースの運営、6次化産業との連携を行い、町内外の観光情報の発信等を行い、地域活性化と交流人口の創出を図ることで、観光入込の回復を進める。 ・観光案内デジタルサイネージの導入 ・ホームページ作成	H29. 7. 1～ H30. 3. 31	鏡石町	
5	新規	観光 振興	石川町観光地域づくりチャレンジ事業	石川町	ソフト	2,560	1,545	地域固有の資源を活用した、着地型観光プログラムの造成と運営の仕組み作りを行う。多様な主体が参画し、企画、運営、実践、改善のサイクルを行い、震災後から減少している観光の復興から交流人口の拡大を目指し、持続発展可能な地域づくりを行う。 ・企画運営会議 ・観光プログラム造成 ・観光ガイド育成	H29. 6. 1～ H30. 3. 31	石川町	6月補正公表待ち
6	継続 3	産業 振興	たまかわ産業フェスティバル	玉川村	ソフト	6,500	3,600	【農産物・特産品のPR並びに商工業PRでの交流人口の増加】 交流人口の増加を目的として産業フェスティバルを開催し、農産物や商工業のPRを行い、地元産業の活性化や、風評払拭、農産物の販路開拓・拡大につなげる。 ・11月 たまかわ産業フェスティバル	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	玉川村	
7	新規	環境・ 景観	地域のみどり再発見事業	浅川町	ソフト	2,000	1,465	城山公園や弘法山公園の植栽を、町民の手で手入れすることで、緑豊かな地域づくりを進め、地域への愛着心を育てるとともに、整備を進めることで、震災以降減少している観光客の誘客を促進させる。 ・城山公園、弘法山公園の手入れ作業	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	浅川町	6月補正公表待ち
	継続 2	保健・ 福祉	高齢者等防災安全確保事業	古殿町	ソフト	11,600	0	地震や豪雨、雪害などの災害により、山間部が多い本町では独りで暮らす高齢者の防災対策、安全確保が重要となっている。そのため、遊休施設となった保育所を活用し、高齢者等災害弱者を対象とした一時滞在施設を整備する。	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	古殿町	

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
8	新規	観光振興	「愛姫」を観光資源とした観光PR強化事業	三春町	ソフト	9,500	6,775	三春町出身の「愛姫(めぐひめ)」は、伊達政宗の正室であったことから、歴史やアニメ等で広く認知されている。そこで、愛姫を軸とした歴史や文化を活用し、交流人口の拡大を図ることにより、震災以降減少した観光誘客の促進につなげていく。 ・キャラクター、パンフレット、ノベルティの作成 ・資料収集、図録作成	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	三春町	
9	継続3	交流・定住	「笑顔ふっかつ!!」大作戦	小野町	ソフト	11,457	8,200	高速道路網が整っている点や交流施設の立地の良さを活かし、県内外から人が集まるようなイベントや、町全体で取り組む健康増進活動などを通して、観光客の誘客回復・交流人口の拡大を図ると共に、まちづくりの原動力となる、町民の元気を復活させる。 ・町施設愛称公募事業 ・発酵のまちづくり推進事業 ・こまちダムまつり、健康ウォーク ・読書推進活動 ・ラジオ体操講習会 ・小町ふれあいフェスタ ・小野インターチェンジ周辺整備構想策定事業	H29. 4. 10～ H30. 3. 31	小野町	
10	新規	交流・定住	八重山農林高校来町に伴う歓迎イベント	小野町	ソフト	1,850	1,387	【地域間交流による風評払拭及び交流人口の創出】 昨年度小野高校と友好協定を締結した八重山農林高校の生徒、小野町と地域間交流協定を締結している広野町、川内村の住民を招き交流イベントを行う。イベントでは、小野町の伝統芸能を紹介し、小野町への理解を深めるとともに、特産品のPRを行い、風評払拭を図る。また、参加者に地元に戻って小野町をPRしてもらうことで、震災以降減少した交流人口の創出につなげる。	29. 7. 1～ 29. 9. 30	小野町多目的 研修集会施設 (小野町)	
累計						104,437	44,097				

		情報発信 新規	ハード
産業振興 継続2	ソフト	観光振興 継続3	ソフト・ハード
		環境・景観	
		教育・文化	
		交流・定住	
		国際交流	
		人材育成	
		その他	

